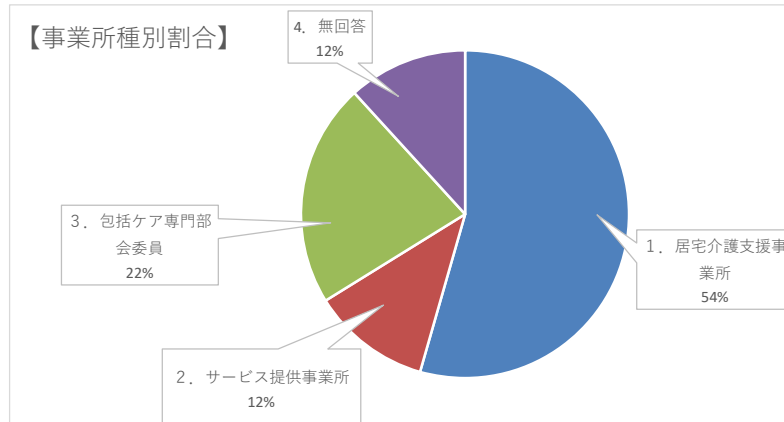


～・～ 令和6年度黒川地域在宅医療・介護連携に関するアンケート 集計結果 ～・～

【回答者情報】

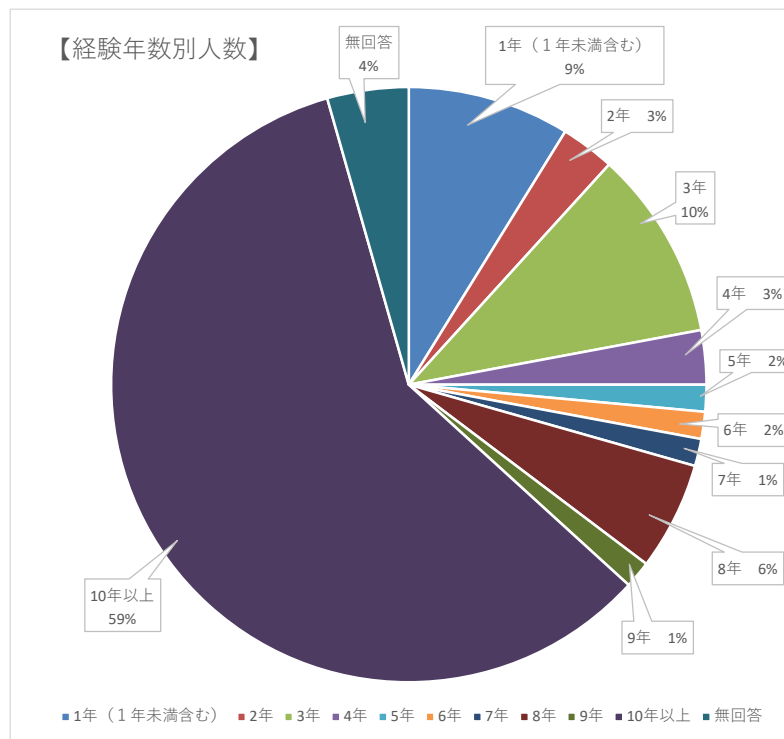
事業所種別	人数
1. 居宅介護支援事業所	37
2. サービス提供事業所	8
3. 包括ケア専門部会委員	15
4. 無回答	8

【事業所種別割合】



経験年数	人数
1年（1年未満含む）	6
2年	2
3年	7
4年	2
5年	1
6年	1
7年	1
8年	4
9年	1
10年以上	40
無回答	3

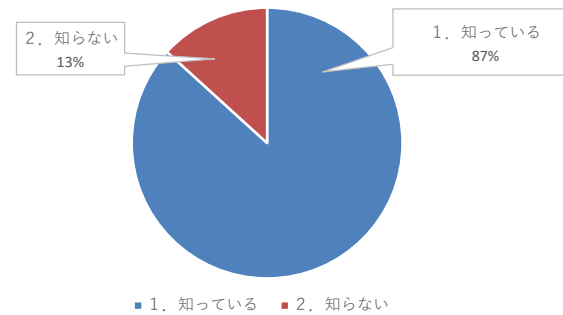
【経験年数別人数】



1 黒川地域が平成27年度から在宅医療・介護連携事業を実施していることをご存じでしたか。

選択肢	人数
1. 知っている	59
2. 知らない	9

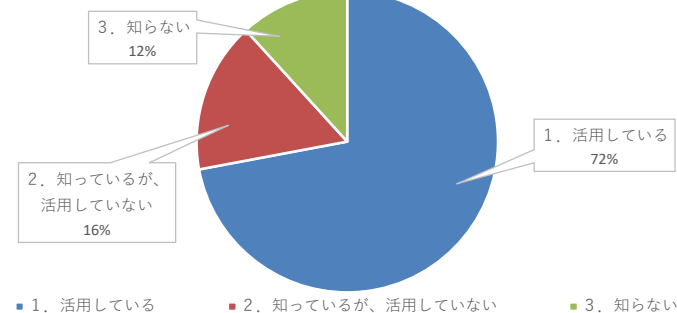
【事業実施の認知状況】



2 上記事業で作成した「多職種連携連絡票」「基本情報提供シート」を活用していますか。

選択肢	人数
1. 活用している	49
2. 知っているが、活用していない	11
3. 知らない	8

【連携シート活用状況】

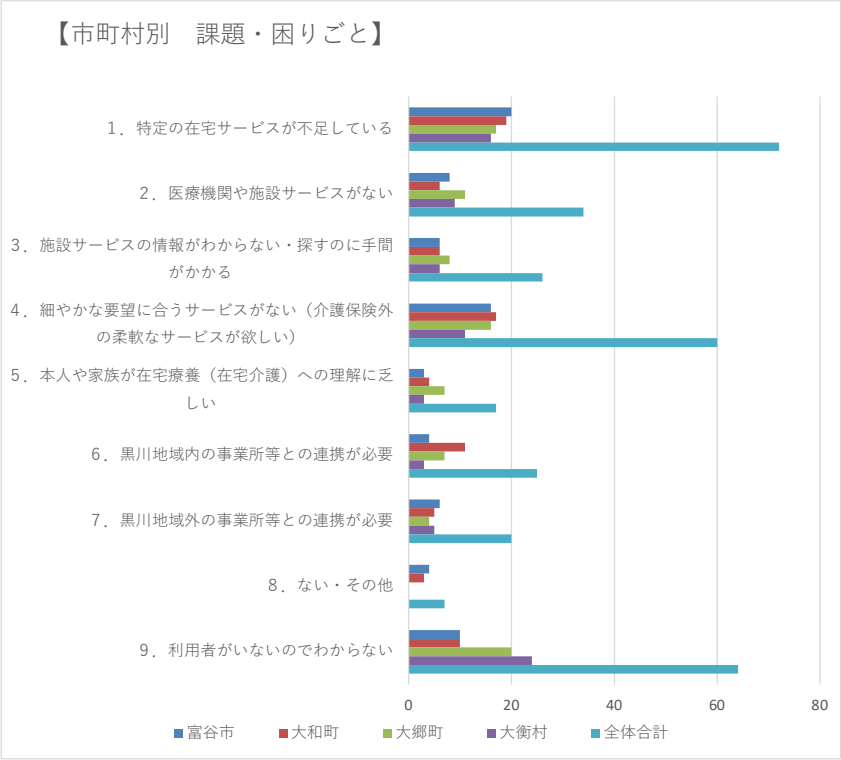


【2を選択した理由】

- ・機会が少ない。
- ・あまり機会がない。
- ・連携ケースがない。
- ・事業所書式を使用している。
- ・社内の連携シート使用。
- ・入退院についてサマリーのみで対応しているため。
- ・業務上活用する機会がない。
- ・使用する場面があまりない

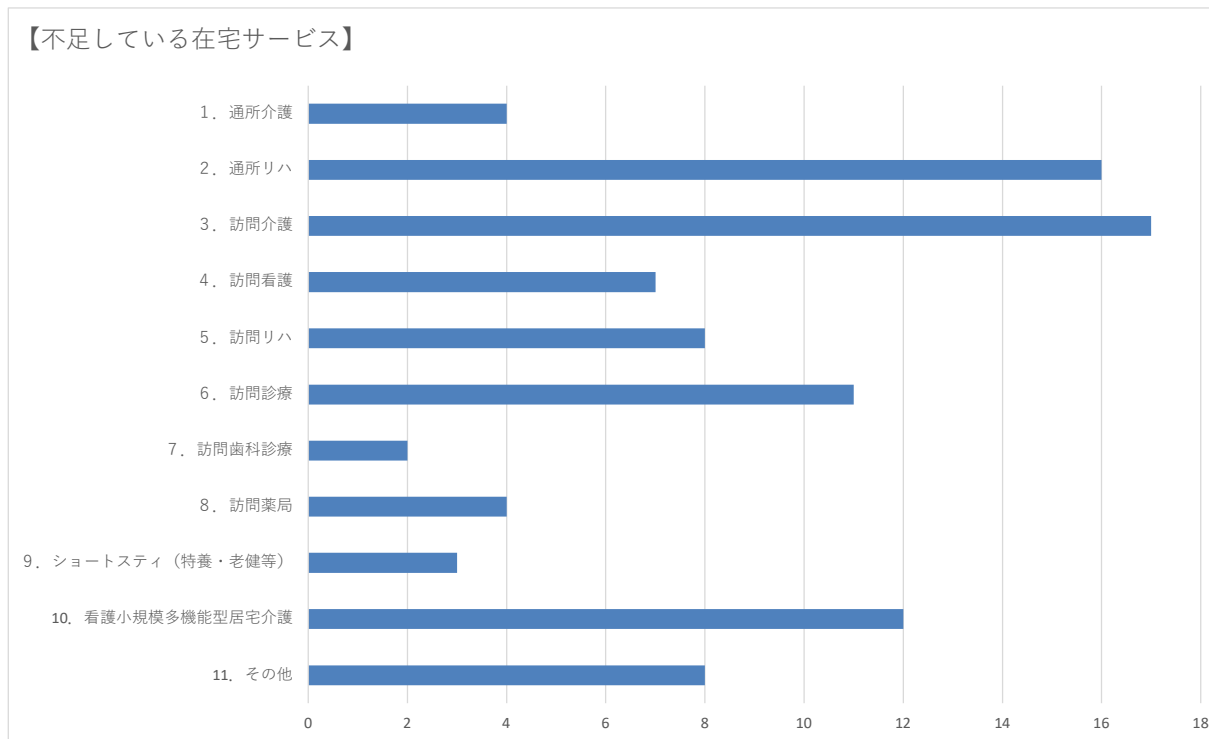
3 ここ1年、在宅医療・介護連携について困っていることや課題を感じていることはありますか。すべての市町村について、あてはまる選択肢に○印を記入してください。（3つまで）

選択肢	富谷市	大和町	大郷町	大衡村	全体合計
1. 特定の在宅サービスが不足している	20	19	17	16	72
2. 医療機関や施設サービスがない	8	6	11	9	34
3. 施設サービスの情報がわからない・探すのに手間がかかる	6	6	8	6	26
4. 細やかな要望に合うサービスがない（介護保険外の柔軟なサービスが欲しい）	16	17	16	11	60
5. 本人や家族が在宅療養（在宅介護）への理解に乏しい	3	4	7	3	17
6. 黒川地域内の事業所等との連携が必要	4	11	7	3	25
7. 黒川地域外の事業所等との連携が必要	6	5	4	5	20
8. ない・その他	4	3	0	0	7
9. 利用者がいないのでわからない	10	10	20	24	64



4 [3]で「1. 特定の在宅サービスが不足している」を選択した方：不足していると感じる「在宅サービス」は何ですか。

選択肢	選択数
1. 通所介護	4
2. 通所リハ	16
3. 訪問介護	17
4. 訪問看護	7
5. 訪問リハ	8
6. 訪問診療	11
7. 訪問歯科診療	2
8. 訪問薬局	4
9. ショートステイ（特養・老健等）	3
10. 看護小規模多機能型居宅介護	12
11. その他	8



【11選択者の自由記載内容】

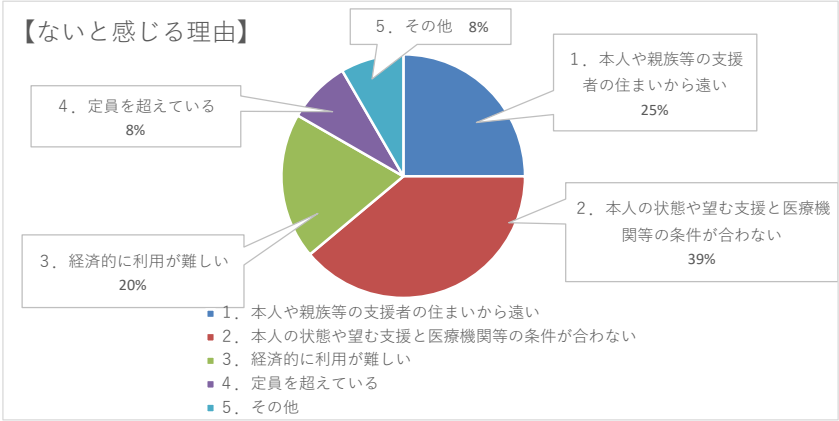
- ・定期巡回（2名）
- ・グループホーム（3名）
- ・小規模多機能（2名）
- ・施設
- ・病院
- ・介護タクシー
- ・短時間デイが欲しい。
- ・機能向上のためのリハビリが欲しい。
- ・訪問診療が少ない。
- ・訪問薬局が少ない。

5 ③で「2. 医療機関や施設サービスがない」を選択した方：「ない」等とを感じるのは、どのような場合が多いですか。

選択肢	選択数
1. 本人や親族等の支援者の住まいから遠い	9
2. 本人の状態や望む支援と医療機関等の条件が合わない	14
3. 経済的に利用が難しい	7
4. 定員を超えている	3
5. その他	3

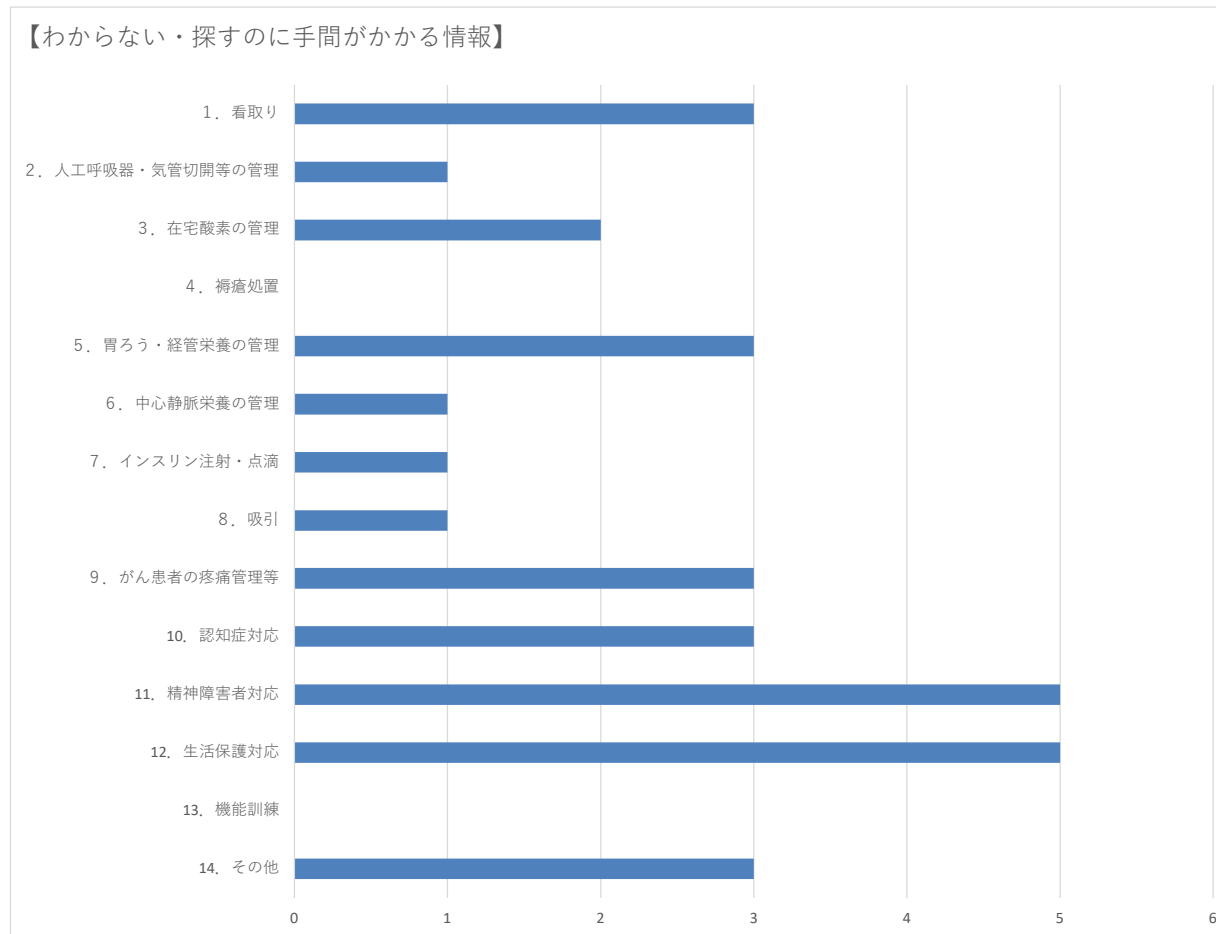
【5 選択者の自由記載内容】

- ・通院手段
- ・在宅医療を行う医療機関が限られている。
- ・精神科の疾患が疑われる患者の確定診断や入院を依頼する医療機関が少ない。



6 ③で「3. 施設サービスの情報がわからない・探すのに手間がかかる」を選択した方：特に「探すのに手間がかかる」施設情報はどれですか。

選択肢	選択数
1. 看取り	3
2. 人工呼吸器・気管切開等の管理	1
3. 在宅酸素の管理	2
4. 褥瘡処置	0
5. 胃ろう・経管栄養の管理	3
6. 中心静脈栄養の管理	1
7. インスリン注射・点滴	1
8. 吸引	1
9. がん患者の疼痛管理等	3
10. 認知症対応	3
11. 精神障害者対応	5
12. 生活保護対応	5
13. 機能訓練	0
14. その他	3



【14選択者の自由記載内容】

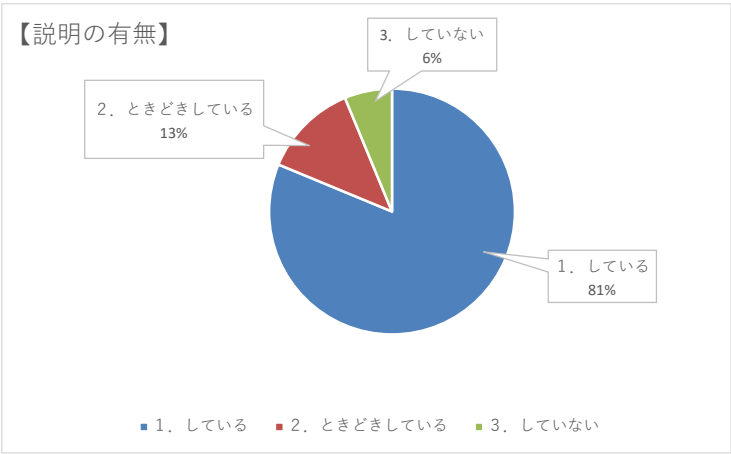
- ・低所得者の施設
- ・料金
- ・施設所在地
- ・透析
- ・低所得・困窮者の対応や受け入れが可能な施設・サービス等

7 ③で「4. 細やかな要望に合うサービスがない」を選択した方：どんなサービスがあると良いと思いましたか。

- ・住民主体のサービス（送迎やサロン）
- ・ちょっとした家事支援（ゴミ捨て、嗜好品の買物、日用品の買物（電化製品など））
- ・定期巡回・随時対応型
- ・食事のサービス
- ・障がいを持った方へのサービス
- ・5分見守り訪問
- ・すべて
- ・どれも柔軟に対応してくれる入所施設やSS、DSなど
- ・介護保険で対応しきれないサービス（雪かき、電球の取り換え、通院同行など）
- ・ゴミ捨て
- ・移動手段
- ・雪かき
- ・毎回の弁当
- ・配食サービスの充実
- ・一般介護予防事業の受け入れ人数の拡大
- ・介護タクシーが1件しかなく病院送迎の調整がつかなかった。
- ・時短デイサービス（3名）
- ・介護タクシーなど通院の足の確保ができるサービス
- ・往診
- ・身寄りのない人の事務手続き等を担ってくれる、成年後見人や民間信託等以外に安価で対応してくれるようなサービス
- ・外出付き添い（通院、買物、銀行、役場手続きなど）
- ・介護者不在時の見守り
- ・介護保険と自立支援のサービスを併用される方が増えてきました。難病の方の支援において重度訪問介護ができる事業所が増えて欲しい。
- ・小規模多機能型居宅介護サービス

8 -(a) ③で「5. 本人や家族が在宅療養(在宅介護)への理解に乏しい」を選択した方：利用者やそのご家族から介護保険施設への入所や医療機関への入院等の相談があった場合、訪問看護等のサービスを利用することで在宅での生活を継続できる可能性があることを、説明していますか。

選択肢	人数
1. している	13
2. ときどきしている	2
3. していない	1



【3選択者の理由記載内容】

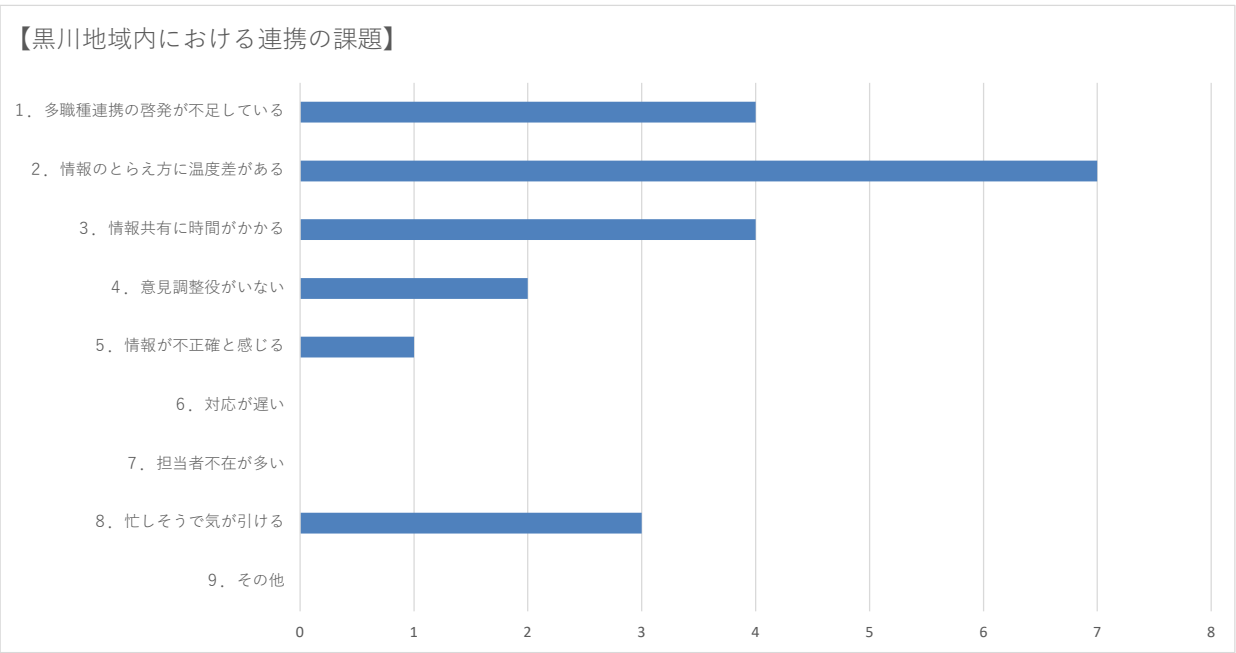
- ・相談受ける立場にない。

8 -(b) ③で「5. 本人や家族が在宅療養(在宅介護)への理解に乏しい」を選択した方：利用者やそのご家族は、どんな情報を知っていたら在宅介護の理解がすすむと思いますか。

- ・他の同じような状況の方のサービス利用例
- ・介護サービスの利用方法
- ・認知症への知識
- ・訪問看護事業所が増え、対応してもらえることで在宅で過ごせる。
- ・サービスの種類、金額、サービス内容
- ・保険サービスの内容
- ・社会資源の理解
- ・制度が難しい、体験していないと理解してもらえないこともある。言葉の説明だけでは難しい。
- ・「介護保険＝デイや入所＝姥捨て山＝自分はまだそんなところに行きたくない」という固定概念を持っている人が多すぎる。固定概念を払拭しない限り無理だと思う。
- ・介護予防にはつながらないと思う。
- ・在宅介護についての成功事例の情報等
- ・相談を受ける立場になく、具体的に必要な情報は不明だが、入院や施設入所を選ぶ住民が多いと感じているため、在宅での生活を送るために活用できるサービス・社会資源の情報が不足しているのではないかと感じている。

9 3で「6. 黒川地域内の事業所等との連携が必要」を選択した方：ここ1年、課題を感じているのはどんなことですか。

選択肢	選択数
1. 多職種連携の啓発が不足している	4
2. 情報のとらえ方に温度差がある	7
3. 情報共有に時間がかかる	4
4. 意見調整役がない	2
5. 情報が不正確と感じる	1
6. 対応が遅い	0
7. 担当者不在が多い	0
8. 忙しそうで気が引ける	3
9. その他	0

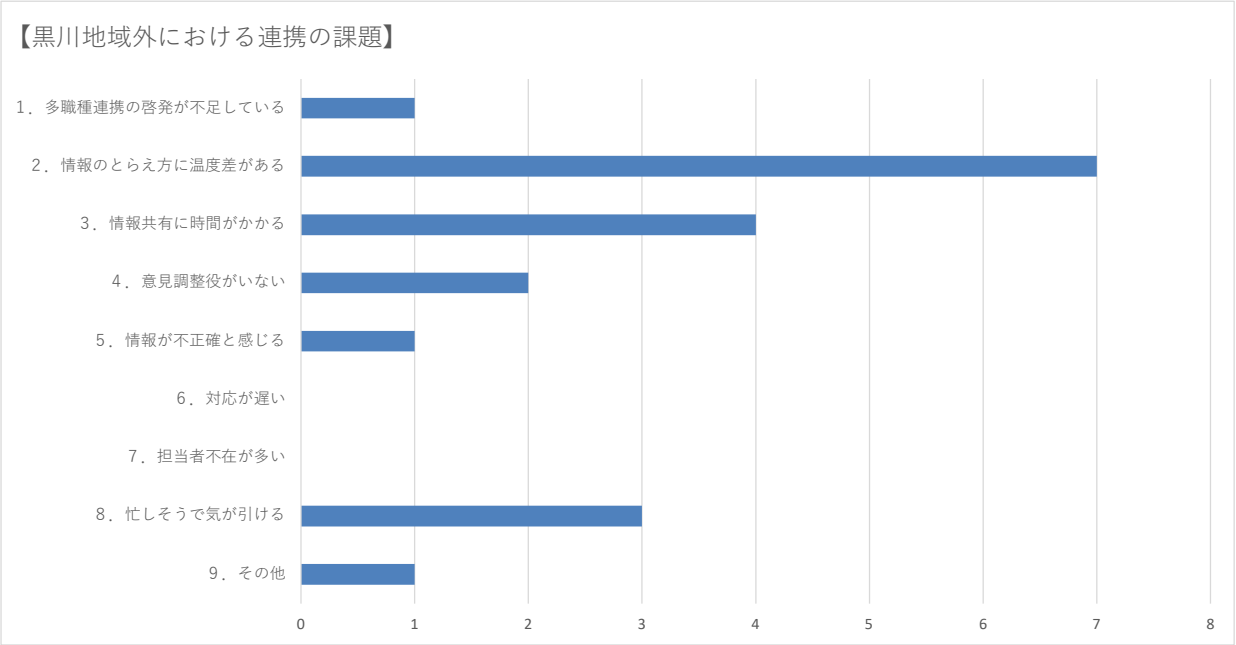


【9選択者の自由記載内容】

・なし

10 ③で「7. 黒川地域外の事業所等との連携が必要」を選択した方：ここ1年、課題を感じているのはどんなことですか。

選択肢	選択数
1. 多職種連携の啓発が不足している	1
2. 情報のとらえ方に温度差がある	7
3. 情報共有に時間がかかる	4
4. 意見調整役がない	2
5. 情報が不正確と感じる	1
6. 対応が遅い	0
7. 担当者不在が多い	0
8. 忙しそうで気が引ける	3
9. その他	1



【9選択者の自由記載内容】

・仙台市の事業所について様々な事業所が多いこともあり、かえって情報がつかみにくいです。結局いつも同じところに依頼しています。（訪問診療や訪問看護など）

11 その他自由にご意見をお聞かせください。

- ・回復期リハビリテーション病院への転院初日に区分変更申請の提案があり、意図が分からなかった。
- ・初めて参加させていただきました。黒川地区の地域連携について無知だったので勉強になりました。ケアマネさんの生の声が聞けてありがたかったです。
- ・異動したばかりですが、連携に努めていきたいと思います。
- ・施設が地域密着型であるが、市内に入所施設が複数あり、家族様から価格面で選ばれにくい。
- ・家族、ケアマネ、事業所共に、どういった施設、事業所があり、空床や空き情報等を周知するのが難しい。
- ・私自身も持っている情報が不足していると思うので、研修会の開催はとてありがたいです。今後よろしくお願いします。
- ・仙台市の事業所であり、現在富谷市・大和町・大郷町・大衡村の利用者さんがいらっしゃらないので……。ほとんど回答できずごめんなさい。
- ・多職種連携連絡票や基本情報提供シートがあるので助かっている。これからもいろいろな場面で使用していきたい。
- ・地域ごとの実情を把握しておらず回答できませんでした。申し訳ありません
- ・在宅介護について連携・推進・理解を深めていくためには、特定の医療介護事業所だけではなく、域内すべての医療介護事業所に可能な限り連携会議などの参加や情報の共有化を図っていくべきだと思います。
- ・富谷市には、要介護認定の一次判定結果を教えるように変更して頂きたい。教えられないという理由も不明瞭で、何故そのように変更されたのかも分かりません。黒川地区で唯一そのような取り扱いをしており、入院中の患者家族、私たち病院職員も困惑しています。
- ・当院は住まいが富谷市や、仙台市泉区周辺からの受診・入院が多く、緊急の受診・入院は、地域包括支援センターや、連携のあるケアマネ・訪問診療医等から相談を受けています。現在私と医師1名が、「とみや南部健康福祉ネットワーク 笑結び」の世話人会に入っており、毎月1回近隣の医療・福祉関係の方達と話ができる為、普段の仕事でも連携が深まっていると感じています。その分仙台市の在宅・介護に関する多職種の方と集まる機会に参加する事がない為、情報が得にくく、仙台市在住の方に訪問診療や訪問看護、その他連携室で探す場合に時間を要しています。困ったときはケアマネさんや地域包括に相談しながら、必要なサービス利用の調整を行なっています。